

小さな一歩、 大切な一歩

LOVEあいちサポーターズ
「あいちお笑い大使」

天野 ひろゆき 氏



教育随想

岡崎は、人口三十八万人の城下町だ。歴史もあり、住むには申し分がない。

しかし、それゆえに、なんとなく岡崎で人生を完結できる。そのこと自体は素晴らしいことなのだが、なんとなくコースが決められているようないい、見えないレールの上を歩かされている感じを、当時中学生だった僕は受けていた。

さらに言えば、僕の小中学校時代は、ツッパリ全盛時代で校内暴力も頻繁にニュースになっていた。

高度経済成長で国が豊かになり、それまでは制服に丸刈りの中学生の姿に何の違和感もなかつた時代から、自我が目覚めるようになつていった。愛知県は全国と比べても、頭髪検査や制服の着方などの校則が厳しく反抗することがかつては大いにありました。

それでも、他の世界を知らずに、それでいいのか。本当にやりたいことはという気持ちが、どんどん大きくなつていった。

そうして初めて、自分で決断して踏み出した一歩。

今思えば、隣町への小さな一歩だが、僕にとっては大切な一歩だった。



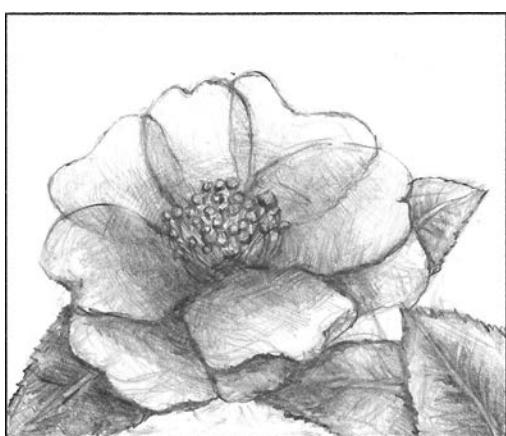
令和7年12月1日

12月号

発行・編集
岡崎市教育委員会

今月の紙面

- | | |
|--------------------------------------|---|
| 教育随想 | 1 |
| LOVEあいちサポーターズ「あいちお笑い大使」
天野 ひろゆき 氏 | |
| この人に聞く | 2 |
| ゲートキーパー「おじぎ草」
大庭 和子 氏 | |
| 羅針盤 | 2 |
| 細川小学校
校長 石川 恒彦 | |
| ふれあい | 3 |
| 城北中学校
教諭 近藤 真行 | |
| 特集 | 4 |
| 最新の学校給食センターの
内部に潜入！ | |
| お知らせ | 6 |
| フォト・ヒストリー
アスレチック場
(昭和五十二年) | 8 |
| この本を | 8 |



悩んでいる人に気付き、声をかけ、話を聞き、必要な支援へつなげて見守る人をゲートキーパーという。岡崎市にはひきこもりに向き合う家族を支える市民活動団体「おじぎ草」がある。今回その代表を務める、大庭氏に話を伺った。

—「おじぎ草」を立ち上げたきっかけは何ですか？

今から二十三年前、発達障がいのある長男が不登校になりました。相談場所もなく、どうしたらよいのかわからず過ごす中で、私自身がいつのまにか精神の病気になってしましました。そのようなとき、市の保健所主催の「こころほつとサロン」に参加をしました。何度も悩みを聞いてもらつたことで、少しづつ心が癒されました。

誰かの居場所となるように
ひきこもりを考える会
ゲートキーパー「おじぎ草」
大庭 和子 氏



され、自分も生きていいくのかなと思えるようになりました。そして、自分も何かできないかと考えるようになりました。十年前には、次男が大学卒業後に外に出られなくなつたこともあり、その思いはさらに強くありました。当時、情報を得られる場が欲しいと、同じように困つていた親御さんや支援者の方と一緒に、「おじぎ草」を立ち上げたのです。

—どのような活動をしていますか？

主に、障がいの有無や年齢、住む地域に関係なく「ひきこもり状態」などで生きづらさを抱えている人やその家族が安心して話せる居場所作りと、相談を受け付けています。例えば、家族の立場だから分かり合える場「家族の集い」や、社会参加が難しい方が集う本人の居場所「あまたどり」を開催しています。

それぞれ集いの場では、現在の気持ちや将来の不安などについて気軽に話ができるようにしています。悩みを相談できず、欲しい情報も得られずつらかった私自身の経験から、本人やその家族が話せる場を提供できるように努めています。

これまで多くの方が「おじぎ草」主催の会を利用され、五年以上継続して参加している人はいます。

—大切にしていることは何ですか？

相談を受ける際は、とにかく傾聴することを大切にしています。まずは否定せず、助言せず、ただただ話

され、自分も生きていいくのかなと思えるようになります。そして、自分も何かできないかと考えるようになりました。十年前には、次男が大学卒業後に外に出られなくなつたこともあり、その思いはさらに強くありました。当時、情報を得られる場が欲しいと、同じように困つていた親御さんや支援者の方と一緒に、「おじぎ草」を立ち上げたのです。

—どのような活動をしていますか？

主に、障がいの有無や年齢、住む地域に関係なく「ひきこもり状態」などで生きづらさを抱えている人やその家族が安心して話せる居場所作りと、相談を受け付けています。例えば、家族の立場だから分かり合える場「家族の集い」や、社会参加が難しい方が集う本人の居場所「あまたどり」を開催しています。

それぞれ集いの場では、現在の気持ちや将来の不安などについて気軽に話ができるようにしています。悩みを相談できず、欲しい情報も得られずつらかった私自身の経験から、本人やその家族が話せる場を提供できるように努めています。

これまで多くの方が「おじぎ草」主催の会を利用され、五年以上継続して参加している人はいます。

—大切にしていることは何ですか？

相談を受ける際は、とにかく傾聴することを大切にしています。まずは否定せず、助言せず、ただただ話



氏名
おおば
かずこ
「おじぎ草」ホームページ

—リーダーシップを育てる
細川小学校 校長 石川 恒彦

今日は『リーダーシップ研修会』です。『リーダー研修会』ではありません。

岡崎市児童生徒活動リーダーシップ研修会（青少年赤十字岡崎地区トレセン）の開会式でこの話をすると、それまで緊張気味だった子供たちの表情が少し和らぐ。多くの子供が「自分は、リーダーとしてふさわしいのか」と不安になっていたのである。

研修会では、

「リーダーは組織に一人いればよいが、リーダーシップはメンバー全員がもっているべき力である。」「リーダーシップは、目的・成果のために何をしたらいちばんよいか考えて動く力である。」

として、青少年赤十字の態度目標「気づき 考え 実行する」と関連付けながら、一人一人のリーダーシップ



自分から伝える



城北中学校

教諭 近藤 真行

Aさんは、明るく、周囲の友達を楽しませることができる生徒である。一方で、困ったことがあると、自分の気持ちを言葉にしてうまく伝えることができず、黙り込んでしまうところもある。

二年生になり、私はAさんの担任となつた。一年生の頃の様子を踏まえ、Aさんには「困ったときに自分の思いを言葉で伝えられる人になつてほしい」と願い、私はできるだけAさんの思いを聞くことを心掛けるようにした。しかし、Aさんは困難に直面しても、思いを言葉にすることがなかなかできなかつた。

ある日、Aさんが友達に手を出してしまつたことを他の教員から聞いた。事情を聞こうとしたが、Aさんは口を閉ざしたまま何も話さなかつた。「何か苦しいことがあつたの」

と問いかけ、「先生はAさんの気持ちを知りたい。力になりたい」と伝えてしばらく待つと、Aさんは涙を流しながら「自分の名前を馬鹿にされたのが悔しくて」と話し出した。私は、うなずきながら話を聞き、「それは悔しかつたね。よく話してくれたね」と声を掛けた。Aさんの表情は少しずつ柔らかくなつていった。「今回のことでの失敗したと思うことはあるかな」と尋ねると「友達を叩いてしまつたことです。謝りたい」と答えた。さらに「次、同じようなことがあつたらどのように行動しようと思う」と聞くと、「嫌なことは相手に伝えたり、先生に相談したりします」と答えた。

その後も、Aさんが黙り込んでしまう場面は何度かあつたが、私はまづAさんの思いを聞くことを積み重ねた。すると、少しずつ自分の気持ちを言葉で伝え、自らを振り返る姿が見られるようになつた。

Aさんの成長が最も感じられたのは、大運動会の競争遊技の練習場面である。グループ練習がうまくいかず、Aさんの技術的な課題を友達が指摘したとき、Aさんは一瞬、怒りをあらわにした。しかしその直後、自ら私のもとへ来て「自分が下手なのはわかっています。でもどうしても上手くいきません。友達からアドバイスがほしいです」と自分の気持ちを率直に伝えてくれた。



以前のAさんであれば、悔しさや不安を抱えたまま黙り込んでしまつていたかもしれない。しかし、このときは、自分の課題を認め、助けを求めるという前向きな行動を自ら選び取つた。私が「その素直な気持ちを、直接相手に伝えてみたらどう」と促すと、Aさんは友達のもとに駆け寄り、「怒つてしまつたことはごめん。それから失敗ばかりしてごめん。でも、どうやつたら上手くいくか教えてほしい」と、まっすぐな言葉で思いを伝えた。その姿に、友達も心を動かされ、言い過ぎたことを謝罪し、グレープでAさんを支えながら練習する雰囲気が生まれた。

運動会当日、Aさんは「もっと上に上げて。前に詰めてきて」と自分の意志を伝え、仲間と声を掛け合いながら競技に臨んでいた。優勝決定の瞬間、喜びを爆発させ、友達同士で「やつたね。おめでとう」と喜びを分かち合い、称え合う姿があつた。

この「先見」を山の学習や修学旅行に取り入れると、子供の行動が大きく変わる。五分前集合が当然のことになるほか、周りへの小さな心遣いが随所に見られるようになる。まさに、目的・成果のために何をしたらいいぢばんよいか考えて動くようになるのである。

こんな取組を様々な場面で積み重ねることでリーダーシップは育つていく。そして、多くのメンバーがリーダーシップをもつようになつた集団は、大きく成長するとともに個にとって心地よい空間になつていく。

私たち教職員も然り。全教職員が、リーダーシップをもつて教育活動にあたりたい。そして、教職員一人一人のリーダーシップを育てられる校長でありたい。

最新の学校給食センターの内部に潜入!

～新・岡崎市西部学校給食センターの「食の安全・安心」を届ける取組～



▲給食ができるまでの調理場内部の様子をリアルタイムの映像で見学・学習をする様子（矢作西小）

給食を楽しみにしている児童生徒は多い。日々、安全でおいしい給食を届けてくれている学校給食センターが、市内に四か所ある。その中で最も新しい施設が、筒針町の「新・岡崎市西部学校給食センター」である。令和六年十月末に完成し、令和七年一月から供用を開始した。この給食センターは、小学校八校（梅園、六名、矢作東、矢作北、矢作西、矢作南、城南、北野）、中学校三校（矢作、矢作北、六ツ美北）に、一日に約八千食の給食を提供している。ここでは、取材して分かつた四つの特徴を紹介したい。

①徹底した衛生管理

下処理室と調理室を、壁などで明確に区分し、衛生管理を行っている。また、食材の搬入から調理・配達までの動線を一方向にすることで、汚れたものが入らないようにしている。

②食物アレルギーへの対応

食物アレルギー対応食専用調理室を設置している。また、食材の搬入からアレルゲン（卵・乳）を除去して提供するため、個別の担当調理員を配置している。

③地域の防災拠点

鹿乗川や矢作川が近いという立地から、水害時の避難場所として、二階へ避難できる外階段を設置している。また、災害用備蓄倉庫や移動式の鍋を備え、緊急時に対応できるようにしている。

④教育のさらなる推進

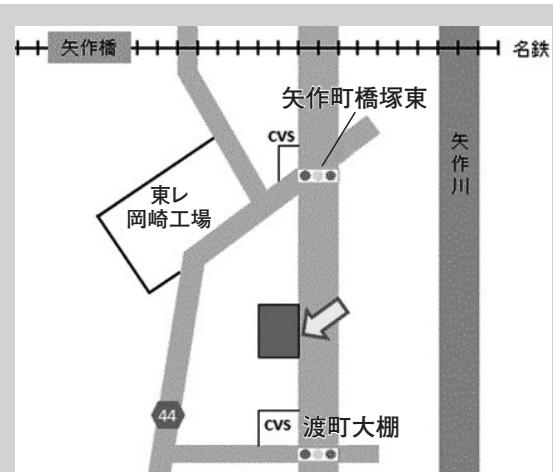
調理工程を実際に見学したり、リアルタイムの映像で学習したりすることができる。また、長期休みにテストキッチンで研修会や「給食探検隊」などのイベントを実施している。

岡崎市学校給食センターでは、最新の設備を駆使しながら、子供たちと地域に食の安全・安心を届ける役割を担っている。

新・岡崎市西部学校給食センターを見学して…

新しい給食センターの中は、すごく広くてきれいでびっくりしました。見学する中で、安全のために、下処理場では食材を3回も洗ったり、きゅうりも一度茹でたりすることが分かりました。また、水害があったときに避難できる場所であることも知りました。大きな鍋でがんばって給食を作っているのを見て、これからも給食を残さずに食べたいなと思いました。

（矢作西小学校3年児童）



▲新・岡崎市西部学校給食センターの所在地

子供たちと地域に食の安心・安全を届けるために

①徹底した衛生管理



▲洗浄後、次の調理工程に汚染物質が入らないよう、小窓を使って送られる食材



▲汚染・非汚染の区域を分けるために色分けられた床

②食物アレルギーへの対応



▲アレルギー物質が混入しないよう、専用の調理室で、個別の担当調理員が行う調理

③地域の防災拠点



▲水害時の避難場所として、2階へ避難するための外階段



▲緊急時の炊き出し用として、屋外で調理することができる移動式の鍋

④食育のさらなる推進



▲給食ができるまでを見学し、できたての給食をその場で食べる子供（矢作西小）



▲実際に調理で使う道具を触って学ぶ子供（矢作南小）



▲親子で参加できるイベント「給食センター探検隊（見学会）」



▲残食を減らすため、梨の皮を剥いて子供が食べやすく提供できないかを検討する様子

新・岡崎市西部学校給食センターに勤める三浦栄養教諭（矢作西小）のお話



新・岡崎市西部給食センターの立ち上げに携わり、初めて学校へ給食を届けるとき、「これからどんな給食を届けることができるのだろう」とわくわくしました。料理が適温で届けられるようになるとともに、新しく導入された機械により効率性が増し、手作りのおかずも提供できるようになりました。子供からは、「今日のフルーツミックス冷たくておいしい」や「魚がふわふわだ」という声を聞くことができました。安全・安心な給食を提供することはもちろんですが、子供が「この献立を食べたいから学校に行きたい」と思えるような魅力的な献立をこれからも考えていきたいと思います。



●教育最新情報

◆ジュニア家康公検定

【目的】

ジュニア版家康公検定及び、それに関連したWEBтекストに取り組むことを通じて、徳川家康やその家臣団の価値観や社会観、人生観を学び、さらに郷土に愛着、誇りをもつ子供を育てる。

【詳細】

日時 令和八年一月十六日
場所 各小学校
対象 小学校六年生(希望者)
方法 Myタブレット
出題 郷土読本「おかざき」、WEBテキストより
※WEBテキストは、市内全小中学生のMyタブレットで利用可。
令和八年二月二八日

- ①応募論文は、研究誌等に未発表のものとする。(継続実践研究の場合は可)
- ②添付資料は、判読しにくくなるほど縮小しない。

論文を次のとおり募集する。
【趣旨】

岡崎市立小・中学校教職員

の日頃の教育実践及び教育研究の成果を論文としてまとめ、教職員の資質向上及び学校教育の健全な発展を図るとともに、その努力を顕彰する。

【部門】

- ①第一部門…個人研究の部
- ②第二部門…共同研究の部

【論文の体裁】

- ①一八二〇〇字以内(図表、写真等の資料は、本文の範囲内に入れる)
- ②用紙・様式

- ・A4用紙 40字×35行
- ・13枚以内
- ・(余白天地左右20ミリ以上、片面印刷)
- ・文字は12ポイント以上(余白への資料添付は禁止)

【留意事項】

- ①応募論文は、研究誌等に未発表のものとする。(継続実践研究の場合は可)
- ②添付資料は、判読しにくくなるほど縮小しない。

◆岡崎市教育研究論文

令和七年度岡崎市教育研究

(3)表紙は、主題・副題・所属・氏名・ラベルのみとし、写真やイラストは掲載しない。表紙の紙の色は白色のみ。

(4)本文は彩色しない。本文の背景を色付きにしない。

(5)個人に関する情報を論文中に記載する場合には、「児童A」等と表記し、特定の個人が識別されないようにする。写真を資料として使用する場合は、保護者の同意を得る。

(6)生成AI利用の注意事項

・論文内に、生成AIの出力内容を用いる場合は、引用として必ず明記する。

・生成AIの出力内容の正確性、適法性及び倫理性は、論文作成者が責任をもつ。

【提出期限】

令和八年一月六日、七日

午前九時から午後五時まで

午前九時から午後五時まで

午前九時から午後五時まで

午前九時から午後五時まで

午前九時から午後五時まで

午前九時から午後五時まで

午前九時から午後五時まで

この会にて、本市の蒲野由紀養護教諭(矢作南小学校)が、学校薬剤師活動協力者感謝状を授与された。

○中学生弦楽合奏第一部 優秀賞 福岡中

○中学生合唱部門 優秀賞 矢作中

○中学生重唱部門 優秀賞 矢作中

○小学生合唱部門 優秀賞 矢作中

○小学生重唱部門 優秀賞 矢作中

○男子1500m 優秀賞 矢作中

○男子円盤投 優秀賞 矢作中

○男子走高跳 優秀賞 矢作中

○女子走高跳 優秀賞 矢作中

○女子走幅跳 優秀賞 矢作中

○女子走幅跳 優秀賞 矢作中

○女子走幅跳 優秀賞 矢作中

○女子走幅跳 優秀賞 矢作中

◆第60回CBCこども音楽コンクール地区予選

○中学生弦楽合奏第一部 優秀賞 福岡中

○中学生合唱部門 優秀賞 矢作中

○中学生重唱部門 優秀賞 矢作中

○小学生合唱部門 優秀賞 矢作中

○小学生重唱部門 優秀賞 矢作中

○男子1500m 優秀賞 矢作中

○男子円盤投 優秀賞 矢作中

○男子走高跳 優秀賞 矢作中

○女子走高跳 優秀賞 矢作中

○女子走幅跳 優秀賞 矢作中



●表彰

◆第7回愛知県中学生新人陸上競技大会

◆第73回統計グラフ全国コンクール

○第1部(小学校1・2年生) 優秀賞 山中小

○第2部(小学校3・4年生) 優秀賞 梅園小

○第3部(小学校5・6年生) 優秀賞 六名小

○第4部(中学校1・2年生) 優秀賞 三島小

○第5部(中学校3・4年生) 優秀賞 矢作中

○第6部(中学校5・6年生) 優秀賞 矢作中

○第7部(高校1・2年生) 優秀賞 矢作中

○第8部(高校3・4年生) 優秀賞 矢作中

○第9部(高校5・6年生) 優秀賞 矢作中

○第10部(高校7・8年生) 優秀賞 矢作中

○第11部(高校9・10年生) 優秀賞 矢作中

この会にて、本市の蒲野由紀養護教諭(矢作南小学校)が、学校薬剤師活動協力者感謝状を授与された。

○中学生弦楽合奏第一部 優秀賞 福岡中

○中学生合唱部門 優秀賞 矢作中

○中学生重唱部門 優秀賞 矢作中

○小学生合唱部門 優秀賞 矢作中

○小学生重唱部門 優秀賞 矢作中

○男子1500m 優秀賞 矢作中

○男子円盤投 優秀賞 矢作中

○男子走高跳 優秀賞 矢作中

○女子走高跳 優秀賞 矢作中

○女子走幅跳 優秀賞 矢作中

◆第69回愛知県統計グラフコンクール

- 第1部(小学校1・2年生)
 - 金賞 上地小 高辻 彩葉
 - 井田小 成瀬 紗音
 - 上地小 川澄 梓
- 第2部(小学校3・4年生)
 - 金賞 三島小 秋葉 奏志
 - 井田小 成瀬 紗音
 - 上地小 川澄 梓
- 第3部(小学校5・6年生)
 - 金賞 三島小 江間 桜子
 - 金賞 竜海中 下里 桜子
 - 竜海中 枝植 佑香
- 第4部(中学生)
 - (アーチェリー)
- ◆2025年度 長月杯
- 12m部門
- 2位 六ツ美中 吉田 心美
- 1位 六ツ美中 吉田 心美

◆第69回日本学生科学賞愛知県展	○区間賞 男子 3区 福岡中 坂井 俊太 4区 南中 尾田 祥太
最優秀賞 (愛知県知事賞)	福岡中 町田 新
最優秀賞 (愛知県教育委員会賞)	竜海中 井川晃士朗
最優秀賞 (読売新聞社賞)	新香山中 江間菜々子
○女子総合 2位	西本 佑 山村 笑子
○男女総合 1位	新香山中
○区間賞 女子 3区 竜南中 安藤 美琴 4区 南中 尾田 祥太	竜海中
◆第32回愛知県中学校力又一 大会新人戦	新香山中
○男子総合 3位	甲山中

○女子カヤツク二人乗り	中澤 一護・小野田圭杜
1位	新香山由
沼沢 瑠那・小山日菜乃	新香山由
外崎 伶奈 櫻井希代香	新香山由
○女子カヤツク四人乗り	新香山由
1位	新香山由
沼沢 瑠那・外崎 伶奈	新香山由
ままれ・小山日菜乃	新香山由

○第3部(小学校5・6年生)
佳作 三島小 江間 桜子
○第4部(中学生)
佳作 竜海中 判治 里紗
◆第69回愛知県統計グラフコンクール

◆第68回中部日本吹奏楽コンクール本大会	○中学生部門小編成	○女子の部
◆令和7年度防火作品展	矢作中	1位（全国大会出場）
○5年習字の部	早川 真優・安藤 美琴・羽根 侑杏	竜南中
佐野伊桜里	安藤 美琴・羽根 侑杏	美遥
	早川 真優	○

○ 男子力ナンディアン一人乗り
1位 新香山中 中澤 一護

○ 女子力ヤツク一人乗り
1位 新香山中 沼沢 瑠那

○ 3位 新香山中 小山日菜乃

○ 男子力ナンディアン二人乗り
1位 新香山中 中澤 一護

教職員の相談窓口

【対象】全教職員 【相談内容】・勤務のこと・家庭のこと・心や体のこと 等

相談窓口	電話番号	相談受付日時	あいちこころのサポート相談(SNS)
岡崎市教職員相談ダイヤル	0564-64-3322	火曜日～金曜日 12:00～19:00 土曜日 12:00～16:30	
あいちこころのサポート相談(SNS)	右QRコード	月曜日～土曜日 20:00～24:00 日曜日 20:00～翌月曜日 8:00	LINE 友だち追加・ID検索 @aichi_soudan
愛知県総合教育センター教育相談	0561-38-2217	月曜日～金曜日 9:00～17:00	
あいちこころのホットライン365	052-951-2881	年中無休 9:00～20:30	
愛知いのちの電話	052-931-4343	年中無休 24時間	

・カツト甲山中天川奈津子

アスレチック場 (昭和五十二年)

写真提供：羽根小学校

写真は、学校の運動場の一角に作られたアスレチック場である。丸太やロープによつて作られた遊具の上で、たくさんの子供たちが夢中になつて遊んでいる。

当時、羽根小学校では「明るく強くじょうぶな子」の育成に力を入れていた。遊具の少ない時代に、全身を使って工夫しながら遊ぶことで、体を鍛えていた。改修されたアスレチック場は、現在も、「羽根つ子ランド」の愛称で親しまれ、休み時間になると、子供たちでいっぱいになる。

遊具は、子供たちにとつて大切なものです。そして、遊びを通して、工夫すること、順番を守ることを自然に学んでいく。



「ほっぺが落ちちゃうくらいおいしい」と談笑しながら給食を頬張る子供たち。安全安心な給食を食べられるのは、学校給食センターで、徹底した衛生管理とアレルギー対応がなされているおかげである。

学校給食センターで働く方々への感謝の思いを、「いただきます」の挨拶に込められるよう、子供たちに伝えていきたい。

時に失敗しながらも、成長していくとする生徒の姿。自分の行動をふりかえり、思いを相手にきちんと伝えることで、仲間と通じ合うことができるようになる。

その成長の背景には、生徒の気持ちに寄り添いながら耳を傾け、共に課題を見つけていこうとする教師がいる。

ど
ホ

師走



▲もうすぐ、冬休み(六ツ美西部小)

と
り

つながりを大切にし、ひきこもりに向き合ううとする生徒の姿。自分の行動をふりかえり、思いを相手にきちんと伝えることで、仲間と通じ合うことができるようになる。

庭氏の信念が垣間見える。

家族を支えたいと、空き店舗を借りてコミュニティを開催。温かな雰囲気が参加者を迎える。誰でも参加することができ、いつ来て、いつ帰ってもよい。その隔てない姿勢に「誰かにとつての居場所となつてほしい」という大



* 眠れない夜に、言語化の話をしよう 中野信子 川田十夢 ソシム ¥1,760

心に残った一文
死は贈与である

死んだら人はどうなるのと考えて眠れなかつた幼い頃、死が怖くてたまらなかつた。

「人間の脳は、死の脅威を感じたときに生き延びるために強い恐怖反応が実装されているにもかかわらず、自分の死を理解することができない」という。得体の知れぬ怖さの正体は、ここにあったのだと納得した。

死へ向かう道を考えることは、今をどのように生きるかを見つめることにつながる。わたしたちは、一生をどのように生き切るかを、丁寧に、そして大切に選び取るための問いを、死によって贈与されているといえるのではないだろうか。

* 咒(まじない)の脳科学 中野 信子 講談社+a新書 ¥990

* 国宝 上・下 吉田 修一 朝日文庫 ¥880・¥880

* 子供にしがみつく心理 大人になれない親たち 加藤 諦三 毎日文庫 ¥880

岡本 弘恵